

## 事故報告書(概要書)

第3報

2025年6月11日

工事番号	23-1-0164		報告者	米谷 大輔		
部門、部署	建築本部	第一工事部	現場責任者名	池田 和樹		
現場名称	(仮称)大谷流レイクミストラルサイドホテル(50室)新築工事					
被害者情報	氏名 [REDACTED]		年齢 [REDACTED] 氏 [REDACTED] 歳	生年月日 [REDACTED]		
現住所			職種	組積工(ALC工)	連絡先	
勤務先 (所属会社)	会社名 有限会社サンシー工業	TEL	所在地 [REDACTED]	雇入年月日 [REDACTED]		
契約関係	(一次) カネマル工業(株) →(二次) (有)サンシー工業 →(三次)					
災害発生年月日時	2025年5月31日 11時0分頃					
傷害名	捻挫・打撲		傷害・部位	左足首 左首		
病院名	成田赤十字病院		治療・休業・日数	休業日数 4日以上	治療日数 6月11日足の痛みがあり現在休業中	
災害発生の事実確認者	氏名 米谷大輔		所属会社	京成建設株式会社		
災害発生の状況 (具体的に記入する)	・時系列で、事故発生の状況、警察・病院・監督署・発注者等への一次処置の内容 (いつ・どこで・なにが・どうして・どうなった)					
	日にち	時間軸	報告内容			
	31日	11：00	事故発生。5階客室で2人でローリング足場上でALC下地アングル溶接作業していて、ローリング足場が倒れた。			
		11：10	近くにいた他業者より米谷が連絡を受ける。池田所長に連絡する。			
		11：10	自宅にて連絡を受けた池田所長が現場へ向かう。			
		11：13	米谷が現地到着。状況確認を行う。			
		11：30	自身で歩行可能だったため、詰所まで戻る。			
		12：15	池田所長が現場到着			
		12：40	受入れ可能な病院が見つかった為、成田赤十字病院に向かう。			
		18：20	診察が終わり、病院から帰宅しました。			
		：				
		：				
		：				
	※特筆すべき事項を記載してください。					
2人作業で、転倒した。1人は腰を打って病院へ行くよう勧めたが、本人は問題ないというので、診察せず						
処置 (連絡)	※社内周知及び必要に応じて実施した警察・監督署・発注者等への二次処置の内容					
	施主・顧客					
	設計、監理者					
	所轄労基署					
	社内	浅田本部長、大澤副本部長、有田部長、鎌田部長、田中次長、増田部長				
労災成立番号						

※ 連絡・報告については発注者、設計事務所、監督官庁(警察署、監督署、その他)等へは必要に応じて連絡すること。

(重大事故における被災者家族対応・マスコミ対応等については、原則、本社管理部門と相談のうえ実施すること。)

状況写真・図面等(1)



状況写真・図面等(2)



原 因	適合していないのローリング足場が組まれていた。
	使用禁止の表示が、明確ではなく、使用業者に周知されていなかった。
	キャスターのストッパーが掛けない状態で使用していた。
	転体の梁に、体重をあけて作業しており、足に力を入れて前方に傾いてしまった。
再発防止対策	足場作成依頼は主任以上の社員が行い、組立後必ず確認する。
	適合した材料で、ローリング足場を組み立て使用する。
	ローリング足場使用上の注意を守って使用させる。